

IELTS(International English Language Testing System、アイエルツ)

◆ IELTS とは・・・

海外留学や研修のため、およびイギリス、カナダ、オーストラリアなどへの海外移住申請をするために英語力を証明する必要がある方が受験する英語運用能力試験です。世界中でその信頼性と公平性が認められており、現在、イギリス、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドなど 135 か国、8,000 以上の教育機関、国際機関、政府機関が採用しています。世界ではケンブリッジ大学英語検定機構、ブリティッシュ・カウンシル、IDP: IELTS オーストラリアの3つの公的な団体により開発や管理がされていますが、日本国内の実施運営は公益財団法人日本英語検定協会とブリティッシュ・カウンシルの共同で実施運営がされています。

世界での IELTS 採用状況⇒

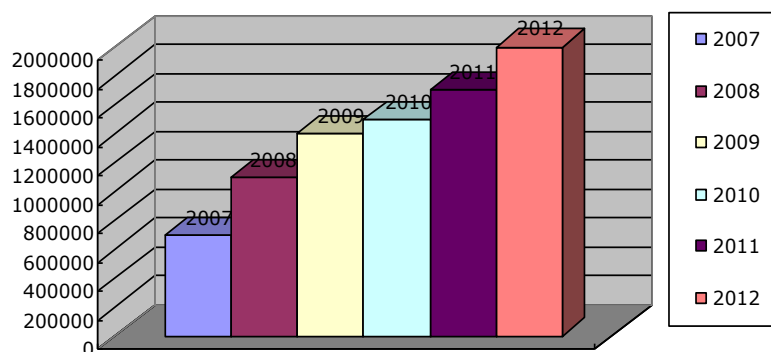
イギリス	ほぼすべての高等教育機関で採用
カナダ	
オーストラリア	
ニュージーランド	
アイルランド	
アメリカ	アイビー・リーグを構成する全大学を含む 3,000 以上の高等教育機関で採用
EU	約 2,000 の教育機関で採用
日本	「グローバル 30」採択全 13 校で 留学生の入学要件として採用

◆ 受験者の推移

世界での受験者数は 18 年連続上昇を続けており、2012 年は年間(*1)で 200 万人に上りました(右記グラフ①)。また日本でも受験者は大幅に増え続けています。日本英語検定協会が実施運営に携わり始めた 2010 年4月から受験者数は約2倍の2万人に達しています(右記グラフ②)。

*1 2012 年 6 月～2013 年 5 月

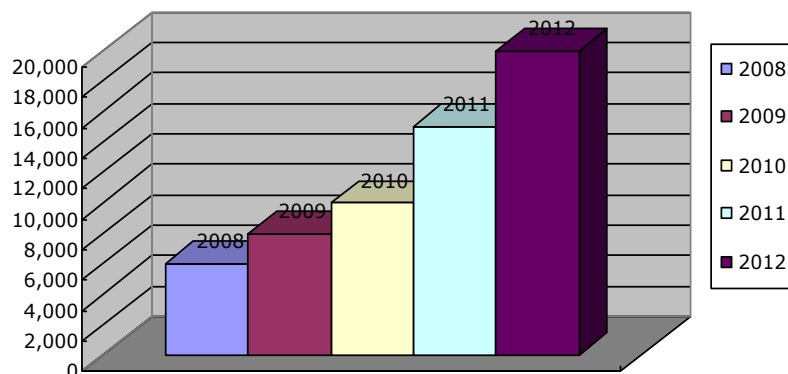
①世界の受験者数の推移



◆ 受験会場と日程

2013 年度は全国 13 会場(札幌、仙台、さいたま、東京、横浜、金沢、名古屋、京都、大阪、神戸、岡山、広島、福岡)で試験実施を行っています。試験日程として、月最大4回・年間最大 48 回の受験可能日が設定されています。また受験回数の制限はありません。

②日本の受験者数の推移



◆ 団体受験

IELTS は公開会場だけでなく、一定数の受験者数を見込める教育機関様などで団体受験も実施しています。学生は慣れ親しんだ学内やキャンパス内で緊張せずに実力を発揮することが可能です。以下に IELTS 団体受験導入校(*2)と公開会場協力校(*2)を列挙します。

*2 2013年8月現在実績。一部変則パターンの団体会場実施校や2013年度内実施を含む。

【国立大学】 東京大、京都大、大阪大、名古屋大、九州大、埼玉大、お茶の水女子大、信州大、金沢大、広島大

【公立大学】 国際教養大、首都大学東京、神戸市立外国語大、北九州市立大、福岡女子大

【私立大学】 東京理科大、国際基督教大、学習院大、明治大、青山学院大、立教大、津田塾大、日本女子大、東京女子大、大東文化大、桜美林大、神田外国語大、金沢星陵大、関西大、関西学院大、同志社大、立命館大、龍谷大、京都外国語大、京都産業大、関西外国語大、立命館アジア太平洋大

【その他】 大学コンソーシアム京都、郁文館グローバル高校、京都学園高校、おおさかグローバル塾、日本外国語専門学校

【公開会場協力校】 藤女子大、東北大、法政大、東洋学園大、横浜市立大、南山大、椋山女学園大、金沢星陵大、京都外国語大、岡山大、広島女学院大、西南学院大、九州産業大

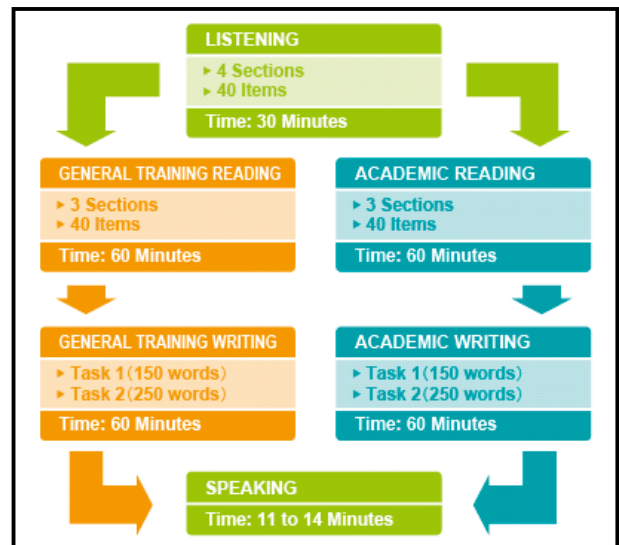
◆ 試験の種類と内容

IELTS には試験の種類が2つあり、どちらもリスニング・リーディング・ライティング・スピーキングの4技能を測ります。Academic Module(アカデミック)は受験生の英語力が、英語で授業を行う大学などに入学できるレベルに達しているかどうかを評価する試験です。General Training Module(ジェネラル・トレーニング)は英語圏で学業以外の研修を考えている人や、オーストラリア・カナダ・ニュージーランドへの移住申請を行う人を対象とした試験です。

● 記述中心のペーパー式と1対1の面接試験

リスニング・リーディング・ライティングは、日本人になじみの深い記述中心のペーパー式試験になっています。スピーキングは、英語が母語の試験官と受験者の1対1で行う面接試験を取り入れています。

試験のフォーマット⇒



◆ 試験結果

試験結果は1.0から9.0まで0.5刻みのバンドスコアで示されます。合格・不合格はありません。成績証明書にはリスニング・リーディング・ライティング・スピーキングの各パートのバンドスコアと、総合評価としてのオーバーオール・バンドスコアが表示されます。結果は受験日から13日目に発行し、その後受験者本人に郵送します。オンラインで申し込みいただいた受験者は、オンライン試験結果表示サービスで特定期間、試験結果を確認できます。バンドスコアは3.0~9.0がCEFR(*3)レベルのA2~C2に相当します。

*3 CEFRとはCommon European Framework of Reference for Languagesの略で、欧州で外国語の学習者の習得状況を示す際に用いられるガイドライン。ヨーロッパ言語共通参照枠。